

F&P デイスポーザブル回路 EVAQUA - 呼気側回路の結露発生を極少化 -

株式会社 東機貿 営業推進本部 本間 久夫

はじめに

F&P 社製 RT 回路は、デイスポーザブル呼吸回路の為、感染対策を有効に行えて、消毒や滅菌に関わる一連の作業が不要という利点があり、数多くの病院でご使用いただいております。

スパイラル方式のヒーターワイヤーにより、回路内のガスが、均等に加温され、回路内の結露を軽減してしました。

この度、弊社は、F&P 社製の「呼気側回路の結露発生を更に極少に抑えることができる」EVAQUA という新技術を導入した商品を、日本市場にも発売することになりました。今年の夏頃に、成人用デュアルヒート型及び小児用デュアルヒート型を販売開始の予定ですので、その特長と仕様についてご紹介をさせていただきます。

特長

*呼気側回路内に発生する結露を極少にします。

EVAQUA とは「チューブ壁から水蒸気を拡散することができる画期的な新技術」です。吸気側回路には、専用フィルム(透湿性の極めて高いポリエステル素材)を使用し、水蒸気の微分子はこのフィルムを透過しますが、液体やガスは、通しません。水蒸気が水となって回路内に溜まる前に、チューブ壁を通して水蒸気が除去されて、呼気ガスの絶対湿度と相対湿度を抑える為、呼気側回路と人工呼吸器の内部に結露が溜まることを防ぎます。

この薄いフィルムを保護する為に、回路の外周をスパイラル状のビーズとメッシュ(テレフタル酸ポリエチレン製)で覆って強度を保っております。ヒーターワイヤーについては、吸気側回路では、気流抵抗を抑

えると共にチューブ全体に均等な温度分布を可能とする為スパイラル形状になっていますが、呼気側回路は、EVAQUA 技術を使っているのです、そこまで加熱をする必要がないということもあり、ストレートな形状となっています。

利点

- *結露が原因となった人工呼吸器のアラーム発生を抑えます。
- *ウォータートラップの水の排出等が不要なので、呼吸回路メンテナンス時間を削減できると共に、回路の抜き差しが無いので、感染予防になります。又、作業時間減少に伴う人件費削減にも結びつきます。
- *呼吸回路内部の結露が大幅に削減され、回路の閉塞を防止します。

仕様

成人用、デュアルヒート型 (RT240 の場合)

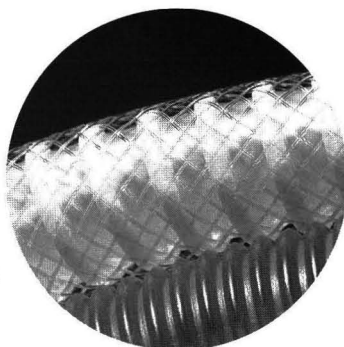
- *気流抵抗: 吸気システム 1.38cmH₂O @50L/分
呼気システム 2.07cmH₂O @50L/分
- *コンプライアンス: 1.92mL/cmH₂O
- *圧縮量: 1.48L
- *チューブの長さ: ドライライン: 50cm
吸気 150cm
呼気 180cm
- *対応する加温加湿器: MR850 型及び MR730 型

以上、EVAQUA の画期的な新技術を用いた F&P 社製のデイスポーザブル回路について説明させていただきましたが、製品の詳細については、弊社までお問合せください。

新製品 A water vapour permeable tube

F&P ディスポーザブル回路

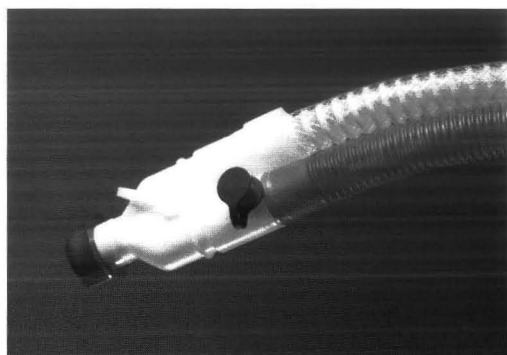
EVAQUA[®]



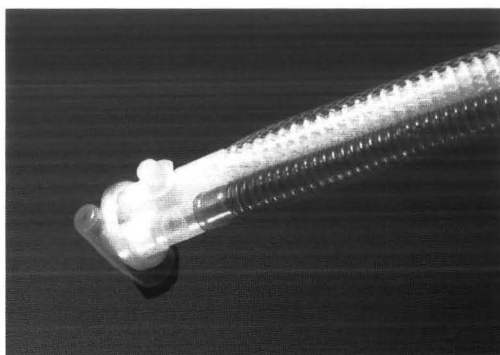
EVAQUAは、水蒸気透過性チューブ採用により、呼気側回路の結露を極少にします!

～ チューブ壁からエアロゾルや病原菌ではなく、水蒸気を拡散するシステム～

- 呼気側回路には専用フィルム素材（浸透性の高いポリエステル）を使用。
- 水蒸気の微分子は、フィルム素材を透過しますが、液体やガスは通しません。チューブ壁を通して水蒸気が除去され、呼気ガスの絶対湿度と相対湿度を抑える為、呼気側回路と人工呼吸器の内部に結露が溜まるのを防ぎます。



成人用：F&P ディスポーザブル回路 RT240
(デュアルヒート型)



小児用：F&P ディスポーザブル回路 RT235
(デュアルヒート型)

F&P ディスポーザブル回路 RT236
(デュアルヒート型、低フロー用)

メーカー：フィッシャー & バイケル社

販売名：フィッシャー & バイケル呼吸回路
医療用具許可番号：13BY00740
製造販売元：株式会社 佐多商会



(株)東機貿および(株)佐多商会は、医療機器の輸入販売に関する一貫業務について、1998年7月31日に国際規格「ISO9002:1994」の認証を受けて以来、2002年7月6日には、品質マネジメントシステム「ISO9001:2000」を取得し、さらに、2006年1月5日には医療機器の設計・製造を含めた品質マネジメントシステム「ISO13485:2003」の認証を取得しました。

販売元

TOKIBO
CO., LTD.

株式会社 東機貿

本社 〒106-8655 東京都港区東麻布2-3-4

資料請求は下記までご連絡お願いいたします。

東京	〒140-8644 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル13F
	tel. 03 5461 3031 fax. 03 5461 3041
札幌	tel. 011 717 0350 fax. 011 758 3901
仙台	tel. 022 211 4551 fax. 022 211 4510
名古屋	tel. 052 775 7800 fax. 052 775 7830
大阪	tel. 06 4790 3100 fax. 06 4790 3101
福岡	tel. 092 271 4695 fax. 092 271 4669

ホームページ <http://www.tokibo.co.jp>